

野外の自然観察

香春町オルレコース パワースポット発見！？

2023年12月15日

今回はいつもとは違い、植物観察もしつつ歩くことに重きをおいた活動でした。

『九州オルレコース』の一つで、2020年に新設された「筑豊・香春町コース」を歩きながらパワースポットを探すコースです。

集合は JR 香春駅でトイレや体操を済ませ、先ずは目指す『香春神社』（かわらじんじゃ）へ出発しました。

遠賀川水系の金辺川(きべがわ)沿いを歩き、かつて日本セメントとして稼働していた、現在は太平洋セメント香春工場の赤い専用線の下を歩いて行きます。



皆さんとおしゃべりをしながら、あっという間に『香春神社』へ到着となり、

境内に続く石の階段下の、ヒノキ科ビャクシン属【ネズミサシ】の説明を聞きながら、さらに上へ上がります。すると最初のパワースポット“山王石”



(方解石⇒寒水石)と名前のつけられた、昭和初期に採掘の進む香春岳・一ノ岳から落下したと言われる石灰岩が現れました。この岩は不思議なことに、社殿を傷つけることなくこの場所に鎮座したことから、山の神様が宿るパワースポットとして知られることになりました。

さらに歩き、日本全国を測量し国土の正確な姿を明らかにした〔伊能忠敬測量

止宿之地〕を通った後に〔元光願寺の大クス〕が見え始めます。樹齢 850 年以上と言われている【クスノキ】の説明を聞きながら、かつて光願寺というお寺がこの地であって、昭和



20 年の台風の際に山津波の被害を受け、お寺は埋没しましたが、奇跡的にこの大クスが土砂を食い止め、周辺被害を軽減させました。

こう言った理由により、ここは香春神社に続くパワースポットです。この後は、幕末から明治維新にかけて置かれた〔御茶屋香春藩庁跡〕を通して歩きました。道の駅香春で思い思いに昼食を取り、午後は日田彦山線沿いの脇道を通りながら、サネカズラの実や、シマカンギクとノジギクの交配種、サルトリイバラ、サザンカとツバキの交配種などを観察しながら、最後は〔上高野観音寺〕の霊場の見学を終え、最終地点の JR 香春駅へ。

この日は雨の予報。活動中、雨に降られることは必至だったけれど、幸運なこ

とに一度も雨に合うことはなく、香春町のランドマーク的な『香春岳展望』一ノ岳・二ノ岳・三ノ岳を眺めることができました。

活動中、皆様のご意見として、これまで行っていたバスハイクの復活の希望がありました。事務局の方もこれを望んでおり、今後話が進めば具体的に計画を行っていくことになると思います。

スタッフ/手嶋・井上 報告